

< 目次 >

1. 事務局より
2. 前年度編集責任より
3. 本年度編集責任より
4. 例会予定
5. 談話会予定
6. 各地の研究会だより
7. メーリングリスト frenchling からのお知らせ
8. 2020 年度収支決算報告
9. 編集後記

1. 事務局より

2019 年度より伊藤達也（名古屋外国語大学）と近藤野里（青山学院大学）が事務局の運営を担当しております。今年度より事務局の住所を名古屋外国語大学から青山学院大学に移動させたことをご知らせいたします。事務局のメールアドレスは変更ありません。住所およびメールアドレスについては『フランス語学研究』の奥付、学会ホームページ等でご確認ください。念のため以下にも連絡先とメールアドレスを記します。

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

青山学院大学文学部フランス文学科

近藤野里研究室内

日本フランス語学会事務局

belf-bureau_gg@nufs.ac.jp

◆会費

会費の徴収は、数年分をまとめてお振込みになるよりも、同封の振り込み用紙を使って期日までに毎年一年分をお振り込みいただくようお願いいたします。お忙しい時期とは思いますが、学会の円滑な運営のために是非ともご協力をお願いいたします。なお3年以上会費の納入が滞っている場合は会員資格が停止され、『フランス語学研究』は送付されなくなりますのでご注意ください。

◆年間テーマ

2021 年度のテーマは、「フランス語の語用論」です。学会誌『フランス語学研究』第 56 号（2022 年 6 月刊行予定）では、本テーマの特集論文を募集します。優れた論文が投稿されることを期待しています。なお、それ以外のテーマの論文も従来通り募集していますので、こちらも奮ってご投稿ください。

◆投稿規程

第 51 号から論文が共著の場合の扱いと、研究ノート制限枚数に関わる規程が改訂されています。詳しくは、『フランス語学研究』表紙裏の「投稿規程」及び巻末の「投稿原稿のジャンルについて」をご覧ください。原稿は 11 月末日必着で、事務局宛にメールでご投稿ください。その際「本文原稿ファイル」とは別に「表紙ファイル」を作成してお送りくださるようお願いいたします。フォーマットは学会ホームページにある専用フォーマットをご利用ください。なお郵送や編集委員による持ち込みは受け付けられません。

◆機関誌バックナンバーのアーカイブ化について

刊行 3 年を経過した号から J-Stage にて順次無料公開していきます。2020 年 4 月現在、創刊号から 49 号までが公開されています。50 号、51 号についてはコロナ禍のために作業の引き継ぎが難しく、アーカイブ化に遅延が生じていることをお詫びいたします。今後鋭意努力いたします。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/belf-char/ja>

会員の皆様におかれましては、バックナンバーとしてご活用いただけましたら幸いです。

(伊藤達也・近藤野里)

2. 前編集責任より

2020 年度は皆さまご存じのように、前代未聞の新型コロナウイルス感染拡大の問題が起り、様々な面で、混乱を極めた年となりました。こうした状況にもっと迅速に対応し、BELF の内容を充実させるべき、必要な手立てを講じることができなかったことはひとえに私の責任であり、深く反省しております。

コロナ禍はまだ継続しそうですが、徐々に状況は改善に向かっていると思います。昨年度6月からは、オンライン例会も開催されるようになりました。コミュニケーションという点では、対面式の交流にはかなわないかもしれませんが、長時間の移動をする必要がなく、気軽に自宅から参加できるようになりました。HPの例会の出席者人数の数字を見て頂いても分かる通り、これまでの年度に比べより多くの方が参加されるようになりました。質疑応答についても、活発な議論が交わされ、毎回充実した研究会となったと思います。海外との交流という点では、海外への旅行も招聘もできなかったものの、徐々にオンライン国際学会、講演会も増えています。こうした研究会の報告書などもBELFの次号には掲載されることを楽しみにしています。また、移動が減り、自宅での仕事が増えた分、余計な作業から解放され、個々の研鑽に時間を取ることができた方も多かったのではないのでしょうか。そうした成果が今後、論文としてBELFに投稿されることを心待ちにしています。

個人的には、私もコロナの間は、研究室にいる時間が増え、座りすぎて運動不足に悩みつつも、落ち着いて文献やデータを調べる時間が取れたように思います。巣ごもり中に、実に何年ぶりかに、研究室やパソコンの中身の掃除までして、すっきり整理整頓し、気分転換ができました。部屋もきれいになったおかげで、頭も整理されたような気分になり、最近、新たに研究テーマを幾つか考えているところです。

2021年度には、例会、シンポジウム、談話会のすべての活動がオンライン、もしくは対面で行われる予定です。これからは新編集委員長の芦野さんにバトンタッチすることになります。2020年度最後の編集委員会では、今後2年間取り組む、新たな年間テーマとして「フランス語の語用論」が採択されました。言語構造それ自体の研究から、それを社会的、文化的コンテキストにおいて、再検討し、コミュニケーションの単位としてのことばの機能を踏まえた言語研究が進んでいくことを願っています。

(秋廣尚恵)

3. 本年度編集責任より

2021年度、BELFの編集責任を務めさせていただ

くことになりました。2014年に編集委員に加えていた以来、査読を務める以外は、ほとんどと言っていいほどフランス語学会に貢献をすることができませんでしたので、今回はいい機会だと思っております。

私は2012年の1月にフランスで博士論文の審査を受けたのですが、それから来年で早10年になります。博士論文で扱ったテーマから研究の関心は広がり、これまでフランス語の動詞、形容詞、前置詞、接頭辞、談話標識などに取り組んできました。最近では日本語の助詞、談話標識にも強い関心があります。ただ、日本語が母語であるゆえに、逆に言語現象に対して一定の「距離」が取れず、その点ではフランス語の分析よりも難しいと感じています。

研究方法は以前と変わらず、多義語の意味的同一性の抽出、および、それを担保しているヴァリアシオンの規則性の記述です。最近は大規模コーパスの開発などの技術的な進歩が著しく、従来の言語学の研究手法・研究動向を大きく変えつつありますが、個人的には、あくまでも言語現象を詳細に観察し、制約を説明し、新たな現象を明らかにできるようなmicroscopiqueな言語研究にこだわっていきたくて考えています。

今年もコロナ禍が続いていますが、例会、シンポジウム、談話会などは最低でもオンラインで行い、学会活動を停止させないよう努めてまいりますので、皆さまのご参加を何卒よろしく願います。また、特に若い方々による論文・研究ノートなどの積極的な投稿もお待ちしております。

一年間どうぞよろしくお願いいたします。

(芦野文武)

4. 例会予定

2021年度例会は4月、6月、9月、12月の4回開催されます。例会案内はホームページによるほか、メーリングリスト frenchling でも配信しています。例会はフランス語学会の会員以外の方でも、来聴することができます。入場も無料です。新型コロナ感染拡大防止のため、オンライン開催となる場合や、対面式の場合においても、人数制限が課される場合がありますので、事前に参加申込が必要になる場合がございます。例会案内をよく御覧ください。みなさまのご参加をお待ちしております。

発表については、フランス語学会の会員の方であれば、どなたでも発表することができます。特に事前審査はなく、申込順に発表が決まります。若手研究者からベテラン研究者までが集まり、研究交流のできるよい機会でもあります。研究成果を業績として公表したい、あるいは学会誌『フランス語学研究』への投稿を検討している方はどうぞ奮ってご参加ください。

発表のご希望やその他例会に関するお問い合わせ：

日本フランス語学会例会運営担当

reikai(a)list.waseda.jp

※ (a)を@に置き換えてください。

以下はニューズレター編集段階の4月30日現在の予定です。最新の予定は学会ホームページで確認してください。

第334回例会 2021年4月17日(土) 15:00-18:00

会場：Zoom 開催

(1) 渡邊淳也(東京大学)・佐多明理(東京大学大学院)
「フランス語の接続法とポリフォニー」

司会：秋廣 尚恵 (東京外国語大学)

第335回例会 2021年6月19日(土) 15:00-18:00

会場：Zoom 開催

(1) 奥田智樹 (名古屋大学)

「名詞 à 不定詞」型名詞句の意味論」

(2) 古賀健太郎 (福岡大学)

「フランス語の关系的な複合名詞：構文文法的アプローチに基づく分類の試み」

司会：伊藤達也 (名古屋外国語大学)

第336回例会 2021年9月25日(土) 15:00-18:00

会場：大阪大学豊中キャンパス (情勢により Zoom 開催となる場合があります)

(1) 発表者：未定

(2) 発表者：未定

司会：未定

第337回例会 2021年12月4日(土) 15:00-18:00

会場：東京 (会場詳細未定。情勢により Zoom 開催となる場合があります)

(1) 発表者：未定

(2) 発表者：未定

司会：未定

5. 談話会予定

今年度の談話会は、以下の要領で行われます。「色彩とことば」をめぐり、様々な言語、視点からパネルディスカッションを行いたいと思います。

日時：2021年11月6日(土) 15:00-18:00

場所：Zoom 開催

テーマ：「色彩とことば」(仮タイトル)

パネリスト：

・中川裕 (東京外国語大学)

・西本希呼 (京都大学)

・新谷真由 (文京学院大学)

(世話人：田原いずみ・須藤佳子・秋廣尚恵)

6. 各地の研究会だより

◆関西フランス語研究会

関西の大学院生と教員が中心になって研究会を開いています。会場は主に関西大学千里山キャンパスです。昨年度は、感染症拡大の影響か、発表者の希望がなく、開催されませんでした。今後はオンライン開催も含めて、継続してゆく所存です。

この研究会では、論文や学会発表をひかえる人がその準備のために発表したり、論文を完成したり学会発表を終えた人がその内容を紹介したりしています。形式にこだわらず、気軽に意見・情報の交換ができる集まりです。また、新刊書や論文の紹介、国内外の新しい研究の動向についての紹介や解説なども歓迎します。

発表を希望される方は、以下のアドレスまで気軽にご連絡ください。

大久保朝憲：tomonori@kansai-u.ac.jp

高橋克欣：k_takahashi@lang.osaka-u.ac.jp

(大久保朝憲)

◆東京フランス語学研究会

東京フランス語学研究会は、大学院生など、若手を中心としたフランス語学研究者の気楽な研究発表、議論、交流の場です。日本フランス語学会と直接の関係はありませんが、多くのかたがたに参会していただきやすいよう、フランス語学会の例会が東京でひらかれる日で、可能な場合は、同じ会場で時間をずらして開催することがあります。

会員資格、発表資格、会費などの制度は設けませんので、関心のあるかたはどなたでも自由に参会、発表していただけます。発表は、フランス語(学)に関係することであれば、どのようなテーマでもかまいません。また、完成された内容である必要もありません。学会発表の前段階にあたるような習作的な発表や、先行研究にたいする論評といった形の発表も歓迎します。

昨年度のニューズレターで既報分以降は、つぎのような発表がありました。いずれも新型コロナウイルスの影響で、オンラインでの開催になりました。

第48回研究会 2020年6月13日(土) 14:00-18:00

(1) 発表者：谷澤まどか(東京外国語大学大学院)
「話し言葉フランス語における副詞 *justement* の用法について」

(2) 発表者：比内晃介(筑波大学大学院)
「第三の波の社会言語学から捉えるグルノーブル都市圏の若者ことば」

第49回研究会 2020年11月7日(土) 14:00-17:00

(1) 発表者：田代雅幸(桜美林大学非常勤講師)
「*Le Monde* コーパスにおける連辞 *à l'inverse* と *à l'opposé* について」

(2) 発表者：西脇沙織(慶應義塾大学非常勤講師)
「文学テキストと論証理論」

今年度の第1回にあたる第50回研究会は、対面とオンラインのハイフレックス形式で実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため、オンラインのみの実施となりました。今年度の残りの2回も、ハイフレックス形式の開催を予定していますが、第1回と同様オンラインのみで実施する可能性もあります。

昨年から研究会にオンラインを取り入れていて、参加者が直接顔を合わせることができないというデメリットはありますが、遠方のかたが容易に論に参加できるというメリットもあり、毎回30人を超える方々にお集まりいただいています。今年度の残り2回の発表者は未決定ですので、国内各地はもとより、海外にお住まいの方にも積極的に発表していただき、また議論に参加していただきたいと考えています。詳細は決まりましたらホームページに掲出のほか、メーリングリスト *frenchling* でもお知らせを配信します。

第50回研究会 2021年4月17日(土) 13:00-14:30

実施方法：オンライン

発表者：栗原 唯(青山学院大学非常勤)

「フランス語の名詞文のアスペクトに関する一考察」

第51回研究会

日時：2021年6月12日(土) 14時から17時

会場：青山学院大学総研ビル9階第16会議室、
兼オンライン

(1) 発表者：未定

(2) 発表者：未定

第52回研究会

日時：2021年11月6日(土) 14時から17時

会場：青山学院大学総研ビル9階第16会議室、
兼オンライン

(1) 発表者：未定

(2) 発表者：未定

発表を希望なさるかたは、下記ホームページの「お問い合わせ」の項目から世話人あてにご連絡ください。最新の予定については、ホームページの「今年度の研究会」の項目でご確認ください。

東京フランス語学研究会ホームページ：

<http://lftky.jimdo.com/>

(渡邊淳也・塩田明子・金子真)

7. メーリングリスト *frenchling* からのお知らせ

frenchling はフランス語学関係の情報交換を目的とした、当日本フランス語学会の公式メーリングリストです。日本フランス語学会の会員向けの案内等が *frenchling* に配信されています。フランス語学関係の研究会や講演会といった催事の告知、文献の探索、あるいはフランス語そのものについての質問、疑問、そして議論に活用していただくほか、フランス語学会の公式行事の案内なども配信されます。

当学会の公式メーリングリストという性格上、特定の政治的メッセージを含むもの、営利的な活動、アルバイト募集等の研究・教育と関係のないアナウンスなどはご遠慮いただけますようお願いいたします。なお、フランス語関係の教員の募集に関する情報は流していただいて全く差し支えありません。設立当初はフランス語に関する議論がこのメーリングリストで盛んに行

われたものですが、最近はそのようなことも少なくなつたのが残念です。フランス語の研究や教育に従事している我々は、フランス語に関して日々新しい発見や疑問を持つことも多いかと思いますが、そのような発見や疑問を共有するためにもこのメーリングリストを利用していただければと思います。学生さんたちも含め、皆さんがもっと気軽に利用していただければ我々としても管理のしがいがあります。

frenchling は Google グループサービスを利用して運営しています。登録するには、以下の項目をメールに書いて下記の管理グループアドレスにお送り下さい。

- (1) 登録用アドレス
- (2) 氏名
- (3) 所属
- (4) 登録を希望する理由(会員である場合には、その旨お書き頂ければ結構です)

アドレス変更、あるいは退会の場合は直接、以下の管理グループのアドレスまでご連絡ください。メンバー以外の方に登録を勧められる場合も、同じアドレスをお伝えください。

frenchling 管理グループアドレス：
g-frenchlingowners@googlegroups.com

日本フランス語学会の公式メーリングリストとなりました frenchling, ますますご活用いただければ幸いです。

(frenchling 担当委員)

8. 2020 年度収支決算報告 (*)

収入の部	(単位 円)
会費	717,000
機関誌売上金	91,000
広告収入	50,000
預金利息	121
小計	858,121
前年度繰越金	2,855,661
計	3,713,782

支出の部

BELF54 号印刷代金	507,609
BELF55 号編集実費	20,000
ニューズレター印刷代金	18,590
発送費・通信費	58,482
特別発表(講演)謝金・交通費	0
事務消耗品費	7,063
振込手数料	25,009
ホームページ管理費	7,784
言語系学会連合会費	10,000

小計 654,537

次年度繰越金 3,059,245

計 3,713,782

次年度繰越金の内訳は以下のとおり。

銀行預金 (三井住友銀行普通預金)	101,936
(三井住友銀行定期預金)	2,008,253
郵便貯金 (普通)	38,884
(振替)	902,984
現金	7,188

計 3,059,245

(*) 2021 年 3 月 31 日現在の収支決算報告。5 月に開催される編集委員会で会計報告と監査報告がなされ、審議のうえ承認の手続きがとられる。

〒470-0197

愛知県日進市岩崎町竹ノ山 57 番地
名古屋外国語大学 近藤野里研究室
日本フランス語学会

9. 編集後記

本年度号では、通常編集とは異なり、2020 年度編集責任の秋廣さんのご協力のもと、さほど重要でなくなった部分や重複している部分を整理いたしました。お寄せいただいた原稿の内容はできるだけ尊重したつもりですが、齟齬がないことを願っています。末筆ながら、原稿をお寄せくださった方々ならびに関係者のみなさまにこの場を借りてお礼を申し上げます。

(木田 剛)

♪ ニューズレターのバックナンバーは、日本フランス語学会のホームページで読むことができます。

<http://www.sjlf.org/>